

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地学基礎	2	3年 情報ビジネス科 システム工学科	必修	地学基礎 (数研出版)	改訂版リードLight ノート 地学基礎 (数研出版)

学習目標	地学とは、地球科学(Earth Science)の略であって、地球とそれを取り巻く宇宙について学習するものである。ビッグバン以来、恒星が進化する中で形成されてきた元素と、それによって構成される物質の循環、光と熱によって起こる現象について、天文・気象・海洋・地質の分野として具体的に学習する。
主な学習内容	1・惑星としての地球、2・活動する地球、3・大気と海洋、4・地球の環境、5・移り変わる地球、6・宇宙の構成について学習する。
評価の 観点・規準	「思考・判断・表現」「知識・理解」に関しては定期考査を主な評価の判断材料とはするが、授業中に発問への答えが適切であったかどうかや小テストの点数が学習内容を十分理解しているかどうか、実験レポートの内容も自己の意見が取り入れているか、疑問点が記載されていたりと十分な思考がなされているかどうかを判断材料として評価する。 「関心・意欲・態度」に関しては授業中の取組や質問の積極性、レポート等の内容に学習意欲が感じられるか等を主な評価の判断材料として評価する。 「観察・実験の技能」に関しては実験中の器具の取り扱い方が教員の指示に忠実かどうかや、後片付けに関しても熱心かどうか、また、レポートの内容も十分に実験の手順や意図を理解しているかどうか等を主な評価の判断材料とする。
評価の方法	「思考・判断・表現」「知識・理解」「関心・意欲・態度」「観察・実験の技能」について観点別に評価し、総合的に判断して成績をつけます。 ただし、実験等にはなかなか時間はさけないと思われるので「思考・判断・表現」「知識・理解」「関心・意欲・態度」の観点を重視することとなる。

学期	内容
1 学期	第1編 惑星としての地球 第1章: 太陽系の中の地球 【太陽系以外の惑星と比較しながら、地球の特徴を調べ、地球の誕生について学ぶ。】 第2章: 地球の形と大きさ 【地球の大きさに対するスケールを理解し、その歴史をふまえて学ぶ。】 第3章: 地球の構造 【固体地球の層構造や構成物質の化学組成を学ぶ。】 ----- 第2編 活動する地球 第1章: プレートの運動とそれに伴う現象 【プレート運動によって火山活動と地震が一つの仮説で表されることを学ぶ。】 第2章: 火山 【マグマの性質と火山の噴火形式、火山地形の関係を学ぶ。】 第3章: 地震と地殻変動 【プレートの沈み込み地帯で起こる地震現象を理解する。】
2 学期	第3編 大気と海洋 第1章: 地球の熱収支 【大気圏の構造とともに、太陽の放射エネルギーによる地球の熱収支について学ぶ。】 第2章: 大気と海水の運動 【太陽の放射エネルギーが大気の循環循環を起こさせることを学ぶ。 大気・海洋水が熱収支のバランスに大きく関わっていることも学ぶ。】 ----- 第4編 移り変わる地球 第1章: 地層の形成 【地層の重なりや変形の様子を観察する方法・地層形成のしくみを学ぶ。】 第2章: 古生物の変遷と地球環境 【地球と生命の歴史を学習することにより両者の関係の理解を深める。】
3 学期	第5編 地球の環境 第1章: 環境と人間 【複数の見地からの環境問題のとらえ方を学習する。】 第2章: 日本の自然環境 【日本の自然環境の特徴を知るとともに日本での災害の特徴を学ぶ。】 第6編 宇宙の構成 第1編: 太陽と恒星 【太陽のエネルギーの源について学ぶ。恒星の性質の分析等について学ぶ。】 第2編: 宇宙のすがた 【ビッグバンによる宇宙の誕生について学び、宇宙の構造を学習する。】

備考 ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等	
--	--